京城日報

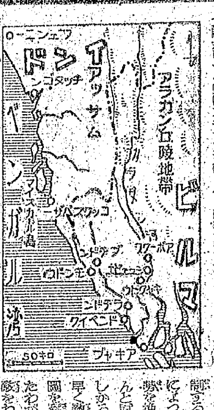
京城府太平通一丁目三十一番地　發行所　京城日報社

内懐に誘引、撃摧
雄渾の追撃戦へ
敵國境線防衛に危機

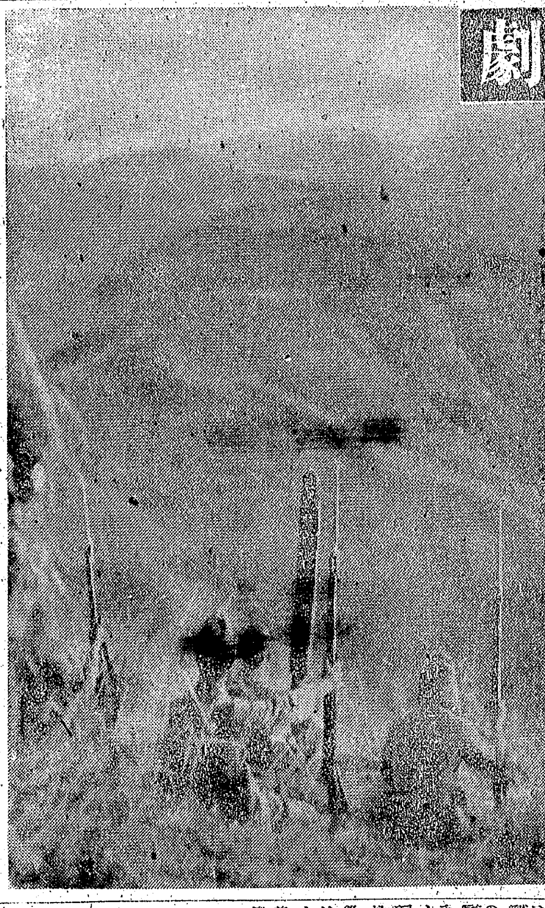
【ビルマ前線○○基地にて陸軍報道班員十二日發】ビー河谷に潰乱しつゝあつた西アフリカ第八十一師團主力○○千を見て先制攻撃に出たわが精鋭部隊の猛攻によりカラダン、ビー河中間地帯に捕捉され、今や周章狼狽パレトワ方面への血路を啓かんものと先を争つて潰走を試みてゐるが、之を捕捉猛攻を加へつゝビー河左岸地帯に進出したわが○○、小林両部隊ならびにカラダンを突破して敵を側背から衝かんとする松尾部隊は中部印緬國境のハカ方面から行動を開始した○○部隊と呼應して之を大きく包圍、一擧にカラダン地帯を横切らんとの態勢を整へつゝあり、同方面の戰況は依然わが方の積極的行動により惡化するに至つた

側背牽制に斷

わが軍の伴つてゐる如く敵のアキヤブ奪回作戰は二月中旬から開始される豫定であつたが、第八十一師は第五師、第七師と呼應してカラダン河谷を南下、一擧にアキヤブを衝くべく態勢を整へ[illegible]



三度アラカンの悲劇


軍旗を奉じアラカン山系を睥睨する皇軍【陸軍省検閲済】

社説
大本營發表に應ふる道

三月十一日の大本營發表によれば、敵の有力部隊がアドミラルティ諸島中のロスネグロス島に上陸を行ひ、爾後逐次その兵力を増強せるに對し、同島における我が部隊及び航空部隊は、連日これを邀撃中であるといふのであるが、續くまで物力の優勢を恃む敵米の反攻は、あたかも西南太平洋に集中されたる觀を呈し、敵の長期戰を回避してゐる心中が歴然と讀みとられるのである。

[illegible]

行政朝鮮 錄音

地主活動促進要綱發表
鑛工生産責任制へ具體的施策

[illegible]

重點産業増産へ
行政權の强化
協議事項及第二號預金 權限委讓に期待

[illegible]

内務省も考究

[illegible]

生産責任制へ 朝鮮信託協力

[illegible]

『現用機』でも結構
前線は自信、加ふべし科學技術

急げ、航空機増産　寺田航空本部總務部長語る

【東京電話】[illegible]

寺田總務部長の初會見（東京）

創意工夫未だし
麥作は順調　鹽田局長談

[illegible]

わが守備隊猛反撃
ロスネグロスの敵苦戰

【リスボン十一日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部發表第一報は[illegible]

【リスボン十一日同盟】米軍のアドミラルティ諸島ロスネグロス島に上陸した[illegible]

グンビ米陣を爆撃

【リスボン十一日同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は十一日の公報に於て日本航空部隊が夜間ニューギニヤのグンビ岬地區の米軍陣地を攻撃し、負傷並に死傷者を生じた旨發表した

香港に十二機

【香港十二日同盟】十日午前午後にわたり敵戰爆連合十二機が香港に來襲、わが地上砲火並に戰闘機隊および所在部隊はこれを邀撃した、わが方被害なし

厦門に戰闘機三機

【香港十二日同盟】十日午後四時三機が厦門に來襲したが、わが所在部隊はその一機を撃墜した

長江の我艦艇 中爆一機撃破

【上海十二日同盟】九日午後B25一機が揚子江上にあつたわが艦艇に攻撃を加へて來たが、わが艦艇は對空火器をもつて邀撃、このうち一機を撃破した、わが方被害なし

九地方長官會議廿七日開催

【東京電話】[illegible]

英り既に伊艦隊を使用

【リスボン十一日同盟】[illegible]

ソ聯機、味方

【ベルリン十一日同盟】[illegible]

フロレンス初爆撃

【リスボン十一日同盟】アルジェー來電＝地中海方面反樞軸軍司令部は十一日米國空軍B24が[illegible]

英の炭坑罷業擴大

【ストックホルム十一日同盟】ロンドン來電＝ウェルズ西部の[illegible]

赤軍チエルカツシー新攻勢

【ストックホルム十一日同盟】モスコー來電＝ソ聯[illegible]

タルノポリに激戰

【ベルリン十一日同盟】[illegible]

米英は緊密に連絡

【ストックホルム十一日同盟】ダブリンにおける日獨兩國外交[illegible]

絶對に中立維持
エール各紙政府支持

【リスボン十一日同盟】エール政府がダブリンに於ける日獨兩國外交代表の[illegible]

英國も通牒を發表

【ストックホルム十一日同盟】ロンドン來電によればエール國民[illegible]

米、米船購入拒否問題發表

【リスボン十一日同盟】[illegible]

艦艇百一隻撃沈
獨潛水艦隊、再び猛威

【ベルリン十一日同盟】獨逸當局は十一日次の通り發表した[illegible]

護衛驅艦十六

【ベルリン十一日同盟】ドイツ軍總大本營はドイツ潛水艦隊の戰果を次の通り發表した[illegible]

東條參謀總長歸京

【東京電話】[illegible]

消息

◇安藤京畿道知事[illegible]

血戰錄

[illegible]

千代田生命　あと一押し！　創業四十周年

ペン習字 十日間 絶對的上達法　毛筆上達法　技法經路　精華寮

闘魂敵を壓する荒鷲　大航空の歌　航空局

日本一を誇る手紙大寶典　別冊付錄

京城府に於ては四月一日より石炭の配給方法左記の通り變更相成候條石炭御使用の向は本月内に夫々關係方面に御手配相成度此段謹告仕候也
石炭需要者各位に告ぐ
昭和十九年三月　日
京城府中區吉市町一丁目
京畿石炭配給統制同業組合
一、月平均三十瓲以上
二、月三瓲を超ゆるもの
三、家庭用
四、月三瓲以下の業務用

集ふ若人三萬の雄叫び
斷じて撃つぞ宿敵
感激沸る 米英撃滅 青年總蹶起大會

先史未曾有の大決戰下皇國の隆替かゝつてこの一瞬一刻にある、前線の死闘に應へる銃後の奮躍、神明に誓つて感奮飛激して増産せん——飛行機を、彈丸を、艦艇を、有餘る"物"を得んで、おこがましくもわれに挑みかゝる敵米英を撲ふたびにこの若き魂は激情に燃え立つ、われわれと同じ青年は、兄は、弟は、今日のたゞ今も血しぶく決戰場で敵と戰つてゐるのだ、憤怒に血は鳴り腕は鳴る、お召しあれば即刻にも馳せ參じ憎き米英賊男を叩きのめしてやる、それまでは各自に課された職域に全靈を叩き込んで精進しよう、銃後は直ちに前線へ通ずるのだ——十二日京城府内の中堅青年約三萬は三ケ所に分かれ"米英撃滅青年總蹶起大會"を開催、この戰氣前線に轟けよと赤心の雄叫びをあげた

堂々の市街行進

中區大會 十二日朝九時京城運動場で京畿の盛儀裡に擧行した、この日管内の警防團、特設防護團、青年隊、青年團、青年鍊成所生など約九千名が參加、女子隊員はモンペに身を固めて來場、來賓として總力聯盟事務局總長を迎へ國民儀禮、新田警防團長の挨拶ののち青年決意表明に移り まづ警防團代表宮崎宣一、青年隊代表藤岡南海男、青訓代表田村貞治、青年代表金海守用、特設防護團代表小畑伊一、青年隊女子部代表吉岡輝子の六君が盛な拍手に迎へられて登壇、精悍な決意を五體に漲らして火の玉の決意を開陳、次いで來賓中の高府尹から激勵の辭があつて、南大門分會青年隊員代表が全身全靈を捧げて戰力増強に挺身せんとの宣誓を力強く讀みあげ、全員海ゆかばを唱和

職場にとゞろけよとばかりに齊唱、歡呼あつて宣誓を行ひ區局呼聲に米英擊滅の決意を固くして午後一時、本町警察署長の發聲で陛下萬歳を奉唱、引續き國防服の團員たちラッパに步調を合せて雄風に軍歌をなびかせつゝ市街行進に移り黃金町通りを經て府廳前を迂り大東亞決戰の決意を胸に深々と頭を垂れて正午すぎ解散した

城東區大會 城東區管内在住青年總蹶起大會は十二日午前九時から新堂町會場に市來城東區長、纐纈城東署長、各町會代、隣會幹事等來賓及び男女青年隊員約四千名參加して開會、國民儀禮についで市來區長、隊員文鐘子君ほか十三名の決意表明演説の後來賓中村東署長ほか四名の激勵…

龍山區大會 男女青年隊、警防團員等若人七千餘名の總力を結集する米英擊滅龍山大會は十二日午前十時より龍山國民學校々庭にて瑞田龍山區長、龍山署長ほか來賓多數を迎へ力強く擧行された、國民儀禮に始まり詔書奉讀、引續き石原隊一氏以下七名の激勵の辭に應へて若人の兩頰は早くも紅潮、青年隊員林在虎君が熱烈なる銃後青年人の決意を表明すれば女子青年隊員高橋媛も起つて"銃後はあたし達が引受けます"の言葉を示し次いで米英擊滅、國民防空、鄕土防衛の徹底を期する實踐事項を申合せて同十一時四十分幕を閉ぢた、尚一行は隊伍を整へて龍山神社に參拜、前線將兵の武運長久を祈願した

寫眞說明 京城運動場における中區大會（上）青年代表金海守用君の決意表明（下）青年女子隊代表吉岡媛の決意朗讀

關門第二線 貫通奉告祭 嚴肅に執行

【門司電話】國鐵關門トンネル第二線の全面貫通を祝ふ貫通奉告祭は十二日午前九時から下關彥島地區關門運轉地方施設部第二待出張所現場で大臣代理運輸通信省鐵道總局三浦施設局長を迎へて嚴肅に執行された、定刻三輪施設局長以下名士約二百名に現場施設部長以下トンネル戰士が參集、官幣大社赤間神宮宮司が齋主となつて神事を進め、各國道を海の神に奉告、第二十一時終了した

待望の女子青年鍊成所
來月十日迄には一齊店開き

本年度から實施される徵兵制に備へ男子の特別鍊成と並んで女子青年の資質向上をはかる女子青年特別鍊成所は、四月上旬中に開所する豫定の下に總督府鍊成課で準備を急いでゐるが、開設豫定數は府三ケ所、邑面一ケ所として全鮮に二千三百八十七ケ所を各道に配當して、各道では總督府の鄕當數に適の準備を急いで遲くも四月十日までには開所することになつた

同鍊成所に入所する女子青年は十六歳以上十七歳未滿の未婚女子にして國民學校を修了せざるものとなつてをり、初年度たる十九年度入所豫定數は約十萬七千名で一ケ年を鍊成期間として國語をはじめ禮儀作法から皇國女性として必要な教育を授けられる

しかしてこれら女子青年の鍊成指導に當る指導者は目下京城梨花、淑明の兩女子專門學校で養成中の四百六十九名に一部は國民學校職員もこれに當り所長は國民學校長が兼務することになつた、なほ同鍊成所で使用する女子青年鍊成教本は目下編修課で編纂中で本月中には出來る豫定である、各道別設置定數は左の通り

京畿二五〇▲忠北一〇六▲忠南一七三▲全北一七八▲全南一五四▲慶北一五七▲慶南一四八▲黃海二二一▲平北一七一▲平南一四八▲江原一七四▲咸南一三四▲咸北一八二▲計二三八七

寫眞說明 京城運動場における出陣大會（上）青年代表金海守用君の決意表明（下）青年女子隊代表吉岡媛の決意朗讀

…所から贈られる淸酒を奉獻、ついで第十師團代表から入坑、三浦施設局長以下の渡初めをなし、海底トンネルの偉大さに感慨と感激の暗を通かしつゝ門司側へ出て解散した

重傷に屈せず指揮
これぞ水雷魂の權化
あゝ南溟の華 ○○驅逐艦長

【ラバウル十一日發同盟】前途なる南溟の制海權に挺身するわが驅逐艦○○は去る一月四日未明浮陽子の如く押し寄せた敵機の群を邀撃して敢然これと交戰、壯烈、敵機を多數撃墜したにも拘らず艦長以下の勇戰によつて廿一機撃墜といふ輝かしい戰果を擧げた、しかも○○艦長は右足に千切れんばかりの重傷を負ひながらも指揮所にあつて指揮をとり無事任務を完遂してラバウルに入港、翌五日遂に戰死した、以下は戰鬪參謀が語るわが水雷魂の權化ともいふべき○○艦長の壯烈な最期である

◇　◇

さる一月四日朝わが驅逐艦○○はビスマルク諸島からラバウルに向つて航進してゐたが、暮から正月にかけてラバウル周邊には連日敵機が來襲するのでこれに備へて戰闘態勢をとりつゝ進んでゐた、この時見張員から遙か前方の雲間から敵機の爆音が聞えて來たとの報告があつた『戰闘配置につけ』の命令一下艦員は戰闘配置についた

配置 についた、今まで艦の上空を警戒してゐた陸上戰闘機百數十機合せて百數十機からなる敵戰爆連合の大編隊は艦わが艦をめがけて襲ひかかつて來たが、艦長は平然として艦橋で指揮をとり續けた

簡單 な止血帶を施して艦長の右足を包帶したが、艦長はその後も依然として指揮をとり續けた、この艦長のこの壯烈な精神が艦員の士氣を鼓舞し、わが艦の艦上機は敵機を撃ち落し、艦長を死守しつゝ壯烈な戰闘を續けた

機雷 を敷設してあつたエゴマド水道も見事に切拔けた、艦長は戰闘が終つても艦橋を降りず指揮をとりその日の夕刻任務を果してラバウルに入港した、○○艦長は直ちに部下の航海長をして今日の戰闘の狀況を○○司令部に報告せしめたのち基地の野戰病院に入院したのであつた

その夜○○隊長官は艦長を見舞つたが艦長は苦痛も明瞭で私事には一言も觸れずに今朝の

戰況 を詳しく長官に說明した、長官は艦長の奮闘は武功拔群なりと稱讚して白鞘の日本刀を艦長に渡さうとしたが『今差上げると感激の餘り興奮して病狀に障るから』との取計ひで二、三日後にすることになつた、艦長はその夜右足の傷道く輸血の甲斐もなく翌日遂に陣歿した

わが對空砲火は一齊に火蓋を切つて應戰を續けた、しかし敵機も執拗に物を言はせて超低空で猛烈な銃爆撃を行つて來た、このためわが艦の甲板には百數ケ所の穴があけられた、わが將兵一同は艦長の沈着冷靜な指揮のもとに奮闘を續けてゐた、この時艦橋にあつて指揮をとつてゐた○○艦長は彈片のために遂に右足に重傷を負つた、右股からは

出血 が激しく足は千切れんばかりだ、應急治療室に運んで手術をすることに取計つた

將軍の印象も一しほ
板垣さん決戰美術展へ

[illegible]… 祖國の思想と戰つた父の遺影を胸に抱いた少年が『お父さん、仇は必ず撲がー』と熱淚とともに七生滅敵を誓ふ勇姿の前に、しばし默想するかのやうに三軍を叱咤した將軍がヂツと佇む——板垣朝鮮軍司令官は公務繁劇の一瞬をさいて井原參謀長並に川崎大佐を隨同して決戰の春を彩つて十日から總督府美術館で開催の大東亞戰下の決戰美術展覽會に十二日朝一時半ひよつこり姿を現した

安井本社文化部人の案内と山田新一氏の說明で、銃前銃後の敵闘の樣相を彩管に寫し取つた如く驚愕のこもつた洋畫百六十四、彫刻廿點、日本畫廿二點を刻明に觀賞したが、そのうち『父の英魂に誓ふ』の前で京日社長賞を獲得した伊東孝市氏の彫刻は特に將軍の印象を深くしたが最後に目を細めて『なかくいい』と感想を漏して同二時半すぎ會場をあとにした、なほ同日の觀覽者は軍人が八百廿八名、一般が二千八百三十二名の多數にのぼり日増しにふえる盛況ぶりである【寫眞＝觀覽する板垣將軍】

目標額は十八億
所得の增加は貯蓄へ

水田局長談

【釜山電話】議會出席のため滯京中の水田財務局長は十二日夕刻釜山通過十三日朝歸城するが、鐵道ホテルに於て語る

朝鮮が負荷する十九年度貯蓄目標を決定する十五日の貯蓄委員會及びその他二、三件の緊急の要務のため歸鮮した、貯蓄目標は昨年より四、五割增加して十八億圓程度で、各道の割當もこれに比例して增加するわけだ、何れにしてもこの一年を頑張り所得の增加した分だけは全部貯蓄するやう半島同胞の決意を促したい、廿日ごろ議會が再開されるので十八日には再び上京する

關釜下り便整理

【下關電話】多客整理のため下り關釜連絡船は十二日から十五日まで各等、十六日は二、三等の發賣を停止した

訂正 十二日附本面掲載寫眞說明中射撃時刻改正は毎日午前七時、大詔奉戴日の遙拜は午前六時廿五分とそれぞれ訂正致します

證券市場（十二日）

實物 稍々活潑 決戰下臨時措置として日曜廢止の第一日は內地各市場が休會であるため、その商內ぶりには多少の懸念を抱く向きが尠くなかつたが、案に相違して稍々活潑なる場面を展開した、これは內地市況に何ら制肘を受くることなく、朝鮮獨自の立場にたいて開市したゝめでもあらうが、いづれにしても京仙鐵業五十九圓九十錢（長期）と六十圓大關門に肉薄して前日より一圓餘方の氣配は一般の注目を惹いた

清算出來値（十二日）

銘柄	朝證長期 前當	中	先
高周波 引寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘工新 引寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遊仙 引寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
經金 引寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ 引寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林新 引寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]

地株利廻表（秋田證券調査）

銘柄	拂込金額	配當率	現株仲値	利廻
鮮銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
殖銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
貯銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
商銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一銀新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝興銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
信託	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝無煙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京城新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
第三新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海陸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮農	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
南鮮	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北鮮電新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
西鮮電新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京電	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林鑛業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遊仙炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
無煙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同マグ	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三陽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝石油	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
國産車	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北鮮製紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
不二興業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮拓	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

應徵學徒の腕【下】

時間が來た、輸送能力の增強のため、日本を勝利に導くために、皇國勤勞の尊さを自ら身につけるために、夕方の五時まで、一心不亂に働く時が來た、最早彼等は一工員である、先輩までの指導員が職場で指導者と交替するのだ、數ケ班に分かれ、指導者に配屬して、指導者の指揮下に入る、職場內に入る者、鑄物工場に向ふ者、所要の工具を受取る者、この時は作業にとりかかる段取りも手早く、要領も吞み込まれて、輸送力强化のために、車輛の…

職場の中は 砂と鐵と火だ、巨大な熔鑛爐は白熱せる焰を吹きつゝ、熔融せる鐵の流れを吐き出す、飛ぶ火花、唸るクレーン—この中に溶け込んだ學徒が火花を散らしつゝ流し込んでゐる

一點に凝結 して突進してゐる爛々たる兩眼と、炎熱のみなぎる口許が必勝精神を物語つてゐる

鑄物その他の部分品が、大量に造られてゆく、堆高く積上げられた鑄物の山、選別され指定されたものを職場から職場の保管庫の投入口に運んで行く、重い、腕が、腰が、拔けさうだ、ノートの一冊、鉛筆の一本、スキーやピツケルとはもの皆違ふ、この苦痛に耐へる者が終ひに勝つのだ、正午から四十分の食休みを除いては、夕方の五時まで、かうして學徒は勤勞の渦の中にある、最早や彼等は學徒ではない、學徒たり上職工ですら彼等の奮鬪ぶりには驚嘆してゐる

ある、鉢卷の額も地下足袋も、灰色だ、一面でも多く、一臺でも餘計に、それが、とりもなほさず米英を撃つ力の基礎となるのだ、彼等はかう考へて闘魂を滾らせる、未熟だ不馴れだ、學んだ理論が役に立たぬ—さうしたひけ目が、心をつゝきさいなむ

疲れも吹っ飛ぶ
勤勞のあと夕食の甘さ

このとき、吾々は純粹な人間と化し切つた彼等を此處に見出すのである、このときの彼等の眼は既に兵士の目である、突擊寸前の、總てを一擧に葬りつくし、大いなるものへ捧げまつる心を現はした目である、徵用以來一ケ月近く、鍛へられてから僅かに一ケ月、彼等は、まう茲まで來てゐるのだ、百の理論、千の理屈を

學徒の勤勞は終りを告げる、ぐつたりと疲れた彼等の調子は、茲ち足りた疲勞である、身の廻りを整へ、所定の場所に集合して再び朝の指導者に迎へられて工場を出る、振りかへれば、職場の煙突から煙がモクくと上つてゐる、彼等を送り出したあと、工場では一般工員が、大部分夜業を續けるのだ、あの職場では、要と同じやうに最高の

能率をあげて、なほ多くの鑄造品が生産されるのであらう、僅か○○名ではあるが、吾々のゐなくなつた職場では、要員の配置をどのやうにするのであらう—足手まとひになる許りの自分たちではあるが、許さるゝならば一般工員と同樣、夜業も續けさして欲しい、徵用者として更に身の幾

叩き折つて、一の實行が、身に徹して彼等を頑實なるものへ近づけつゝある實證である、此の徵用期間內に、これを本當に彼等が身についた信念とし、聊かも動ずることなしに敢然と起つて姿に示し

來を率ゐる 彼等のものとなつて欲しいものである、夕闇せまる午後五時、一先づ歸

い思ひがする、と、或る一人が嘆聲で申し出たこともあつた、五時までは自分たちの自習の時間である、廿分、一日の勞働の疲れと汚れが、氣持よく洗ひ流される、急にお腹がグーグーと

食事を催促 する、正六時、夕食の時間だ、朝は時間がないので各室で食事を攝るが、夕食は樂しい食堂で一齊に三交替で食事をすることになつてゐる、嚴しい會長の統率の下、厳かな禮典を以て行はれるのである、山盛りの御飯が見るうちに皆の胃へ吸收される、盛られた副食物が一滴殘らず食べられる、こんな美味い夕食は今まで喰べたことがないと、誰かが口にいふ、勤勞者の一家が、菜しく夕食を揃つて食べる本當の味をはじめて知つたことであらう、殊に副食物には肉も魚も野菜も、規程以上に回數多く飯を現はすのである、病人は

日中の最大の樂しみである夕食が終れば、午後九時廿分點呼まで、自分たちの自習の時間である、持込みを許されてある書籍、雜誌に親しむ者、手紙を認める者、日記をつける者、馴れぬ手つきでシヤツのほころびを繕ふのも入隊して成の一面である、工場內では一般工員同樣

一切喫煙は 許されぬが、こゝでは許されてある、なほ、この夜の自習時間をより一層有効適切なる活用に就ては生活部長の徹底に努めてなすべく目下研究中である、午後九時廿分、消燈就寢の時間である、既に夜はなるべき所に整然と並べられ、總ての物は、在るべき所に整然と並べられ終つた、火鉢の殘り火も消し終つてゐる、既に規則の如く整頓し終つた、中央、定時、指導員の點呼である、『お寢みなさい』『お寢みなさい』不寢番の次々に就寢は進行してゆく、時折り指導員らの巡視を受ける

列車の響き 以外は、寂たる夜氣が立ちこめてゐるばかりである、以上は、最近の或る一日の徵用學徒の牧歌であるが、なほ二三要望を記すことゝする

一、病人は出てゐないか 一ケ月間に發生したものは、過度一名、齒科治療中のもの數名、呼吸器疾患者一名であるが、輕い疾病の治療向れも徵用以前の疾病で輕いものと思ふ

あることが判明した、以上の外には不徵用の者は一人も出さず、前記の者に對しては、刑務せしめる一方、特に衛生面にも留意してゐる

休日に一回 外出せしめてはあるが、それも監督引率のもとに團體外出せしめたが、何れも時間（午後一時より五時迄）前に自己に歸つて來たやうな有樣で、行先も日用品の購入、知人訪問、書店立入り等で飲酒其の他の酒しき行狀は無かつた模樣である

一、待遇はどういふ風になつてゐるか▲一般工場の徵用者と同樣交通費用として手當▲食費は大體廿圓以下で出來る見込であるから、與へられる給料その他で充分やつて行けるものと思ふ【寫眞＝應徵學徒】

物を大切にしようよ
活かせよ立派な戰力

⑤

紙

今は昔、數百貫を誇つた月刊雜誌も一頁一頁を含む一冊廿四頁になつてしまつた、戰爭と紙、こんなにも關聯があるものだらうか、街からチリ紙が姿を消し壁新聞がなくなつた、又は止むを得ないとしても"紙の彈丸"といひ"文化戰"といはれた新聞、書籍、雜誌が何故かくまでも窮屈になつたか、われ〳〵はこゝに"紙"の戰力性を痛切に感ずる、紙の原料が木材を細く刻んだものだといふことは誰も知つてゐる、しかし紙を不注意につかふごとに

て遂行部隊の尨大を誇つた婦人雜誌、職たる附錄さへお添へものにし見る影もなく激ぺらになつた、嘗つては、新聞の度に讀者の家庭をバサリと通せ立てインクの香ひを漂はせたのかんでいた

ポンプの如く貢獻した新聞は二、三年の間に十二頁になり八頁になり六頁になり十日からは遂に夕刊廢止

止めよ焚付け代り
回收次第で何度でも御奉公

が大量の木材を浪費するといふことを一次方程式に氣のつかぬ人は案外多いのではあるまいか、戰時下木材がいかに重要であるかは今さら喋々を要しない、從來年鳥では見向きもされなかつた泥柳柳、みねりかんば、たも、の雜木材までが動員されてゐるのである、紙の原料もまた例外ではない

しかしながら飛行機用材としてさしどもがお召しになる今日である、紙の無駄使ひについて說教がましいお喋りも必要あるまいが、併し紙についてどうしても見逃すことの出來ない點がある、紙は注意して回收すれば決して消滅するものではないといふことだ、彈丸やガソリンは一度使用すれ

ばそれでだが紙は立派に再生三度出來る、つまり紙や焚付けの代りに燃やしてしまはない限り國內資源としてのパルプは決して減少しないといふことになる、こゝに紙の問題が單なる節約の問題に止まらず回收の

問題として考へねばならぬ理由がある

パルプ資源に乏しいドイツが廢紙の回收を始めたところ一ケ年で百萬トンを集め得た、これはベルリンからアムステルダムにいたる約千キロ幅一キロの森林を伐採

したに等しいパルプ量に當るといふ、今日本內地で月四日分の新聞紙を供出したとすれば新たにその分だけの紙を作るに必要な石炭が月一萬トン浮くことになり、またこれをパルプに換算するとパルプ材六十六萬トンが浮く、このパルプ材で船を作るとすれば百トン積みの機帆船約百隻が出來る……職力增強の鍵は案外こんなところに潛んでゐることを思ふべきである、わずか一枚の紙だといつて馬鹿にしてはならない、誰かが一枚の紙も燃やさずに再生用に振向ければ、それだけ國內のパルプ資源を增強した勘定になり、ひいて戰ふ日本の生產職力に寄與されることになるのだ【寫眞＝古紙の供出】

ラヂオ　13日

第一放送

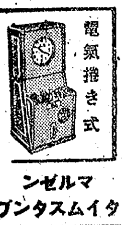
朝 ▲七・〇〇ニュース、▲一一・〇〇國民學校放送『二年生の時間』音樂『寒い日本』

晝 ▲〇・二〇軍歌、扶桑合唱團、吹奏樂、海洋吹奏隊▲一・三〇國民學校の時間『國の話』(二)文部省上豊一郎

夜 ▲六・〇〇少國民の時間シンフン、國民合唱『父の父、父の兄』▲六・三〇(城)決戰生活手帖、家庭菜園の工夫(三)『國の護り』▲六・五〇(城)『國防恐必勝』解說(二)▲七・〇〇大東亞建設と日本語▲八・〇〇輸送戰士へ送るタ、落語2、浪曲▲九・〇〇ペルリンより『ドイツ通信』

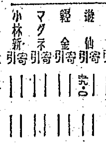
第二放送

夜 ▲六・五〇國民歌謠▲七・二〇入學兒童を持つ家庭へ、國史物語▲八・〇〇愛國歌謠、朗讀『日露戰役記』宋永洪、時事解說▲九・〇〇(東)初步國語講座



マルゼン タイムレコーダー
マルゼン タイムスタンプ
詳細型錄呈上
丸善 本店 東京日本橋通 京城支店

利原鐵山技能者養成所生徒募集
一、求人者 咸鏡南道利原郡東面利原鐵山技能者養成所
一、募集人員 五〇名
一、應募資格 滿十四歲以上二十二歲未滿ノ男子初等科六年卒業又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者
一、提出書類 入所願書、履歷書、學業成績證明書、身體檢查書各一通
一、修業期間 一ケ年
一、願書締切 昭和十九年三月二十五日
一、入所試驗 昭和十九年四月一日午前十時ヨリ當該養成所ニテ施行ス
昭和十九年三月十日
咸興職業紹介所



僕もなりたい少年兵！
自宅で通信指導會
陸海軍志願
東京牛込區若宮町八 日本軍事教育會（振替東京一八八七〇）

技能者養成工募集
一、求人者 日本鋼管株式會社清津製鐵所
一、就業地 咸鏡北道清津府西水羅町二九五
一、募集人員 1、鍊能者養成工（修了年限二年）內地人〇〇名、半島人〇〇〇名
一、入所時期 昭和十九年四月五日
一、入所資格 滿十四歲以上十七歲未滿の國民學校六年卒業又は之と同等以上の學力を有する身體强健なる者
一、志願手續 自筆履歷書、學業成績證明書、身體檢查書
一、銓衡方法 三月中旬頃從業員所定の上通知す
一、赴任方法 (1)四月四日迄に赴任のこと (2)旅費、食費支給
一、入所後の待遇 1、給料養成工及期養成工共に第一年次は半島人四十八圓、內地人五十七圓程度
十四時間勤務者
清津職業紹介所

解散公告
平南陸運株式會社

內案 一、銓衡 三月十八日午前十時 一、待遇 面談 京城職業紹介所

無線技術工員 京城無線電氣製作所

職場 一、資格 一、書類

寫眞引伸 現像・燒付 各種材料アリ 中區本町二 三澤堂 電⑦7008

撃ちてし止まむ 京城式改良焚口 平沼事務所 代理店至急募集

國本明子 安心してかへれ 母親病氣

電氣用・無線用 各種計器、測定器 修理・調整 東邦電機製作所

金浦

中央劇場 九日より十五日まで 日本ニュース 爆風と彈片 あの旗を撃て
城寶 日本ニュース 爆風と彈片 あの旗を撃て
京劇 九日より十五日まで 日本ニュース 爆風と彈片 あの旗を撃て
喜樂館 十二日—十六日 北の健兵 日本ニュース 浪曲忠臣藏
明治座 九日より十五日まで 日本ニュース 爆風と彈片 あの旗を撃て
若草劇 九日より十五日まで 日本ニュース 爆風と彈片 あの旗を撃て
朝日座 次回興行 追て發表
浪花館 三月十二日ヨリ五日間 ニュース 今ぞ一億戰闘配置へ 坊ちやん土俵入り
和信映畫館 九日—十五日 日本ニュース ホーネット艦の最後 獨逸彈丸列車 勝ち拔くために
新富座 十日より十三日まで 花咲く港 ジャワの學校 日本ニュース
城南劇場 十二日より 日本ニュース 今ぞ一億戰闘配置へ 坊ちやん土俵入り
東洋劇場 十二日より 劇團星群 太平洋作 故鄕 三幕
桃花劇場 十日より十三日まで 我が家の春 小國民の進軍歌 日本ニュース
大陸劇場 九日より十五日まで 日本ニュース 爆風と彈片 あの旗を撃て
第一劇場 9日より12日まで 朝鮮唱劇團公演
京日文化劇場 月一日 森の石松 野球の祭典 勝ち拔く爲めに 日本ニュース